

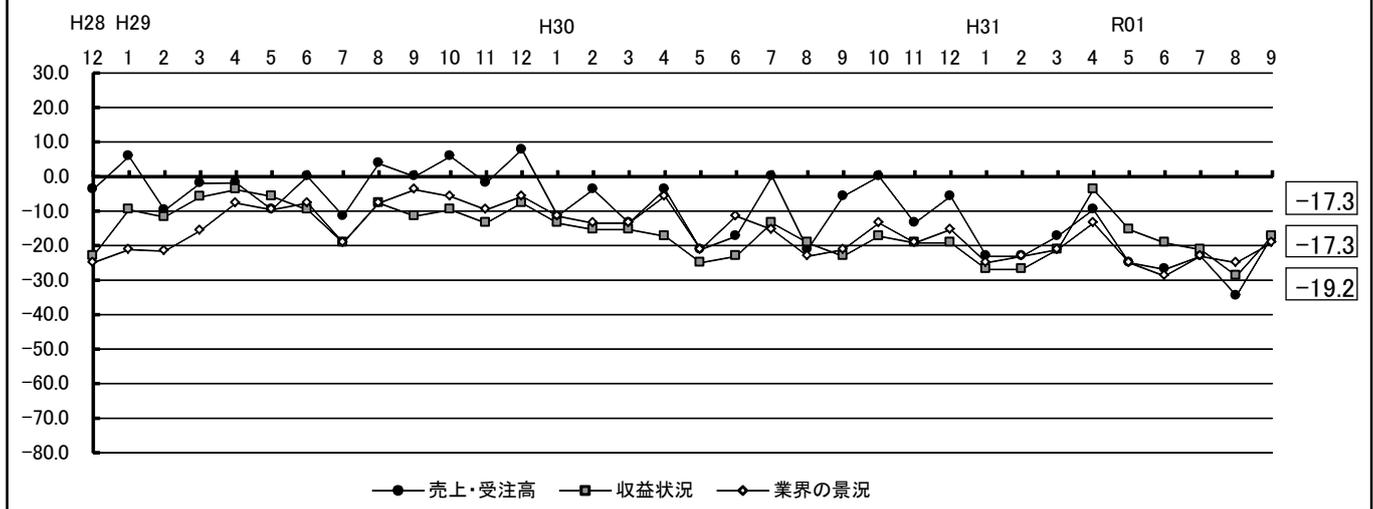
# 中小企業団体情報連絡員報告結果(令和元年9月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 9月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中7指標が上昇した。主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも上昇した。
- 9月は連休続きであることや消費増税前の駆け込み需要により売上増を期待していたが、恩恵を受けたのは一部業種のみであった。
- 増税後の購買意欲低下への懸念があるうえ、キャッシュレス化への対応等により事業者の負担は増加している。
- 先行き不透明による生産量のセーブや人手不足による工期延長の影響で商品の出荷不可が発生している等の声が聞かれた。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-17.3	+17.3	-13.2	+12.8
収益状況	-17.3	+11.5	-19.7	+7.6
業界の景況	-19.2	+5.8	-25.2	+5.4

## 売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より17.3ポイント上昇し、-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より12.8ポイント上昇し-13.2ポイントとなった。

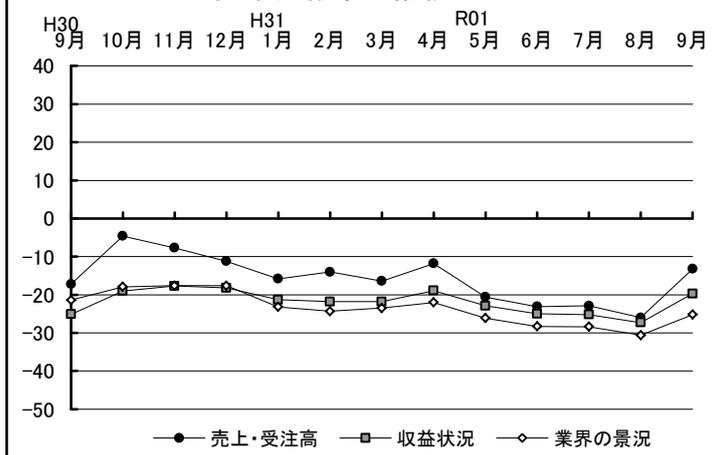
## 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より11.5ポイント上昇し、-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より7.6ポイント上昇し-19.7ポイントとなった。

## 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より5.8ポイント上昇し、-19.2ポイントとなった。全国においては、前月より5.4ポイント上昇し-25.2ポイントとなった。

全国集計結果の推移



## -概 況-

9月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「売上高」「在庫数量」「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」「業界の景況」の7指標が上昇した。

主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも上昇し、それぞれ-17.3ポイント、-17.3ポイント、-19.2ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中5業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中3業種が上昇、1業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中3業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が上昇、2業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中3業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、1業種が下降した。

9月は連休続きであることや消費増税を見据えた駆け込み需要により売上増を期待する声が多かったものの、それらの恩恵を受けたのはサービス業や運送業の一部の業種のみであり、全体的には厳しい業況に変化はなかった。増税後の購買意欲低下への懸念が絶えず存在していることに加え、キャッシュレス化への対応等事業者の負担が増加しており、中小企業を取り巻く環境は引き続き予断を許さない状況にある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	△	△	△	×	×	×	△	△	×
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	×	△	△	△	△	△	×	△	△
鉄鋼・金属	×	×	△	△	△	△	×	△	×
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	25.0	25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-50.0	-50.0	-25.0	0.0	-50.0
木材・木製品	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-50.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-50.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	0.0	-50.0
一般機器	-25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	-25.0	25.0	-25.0	25.0
製造業	-24.0	-12.0	8.0	-12.0	-16.0	-16.0	-20.0	-4.0	-24.0
卸売業	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
小売業	-28.6	-14.3	0.0	-14.3	-42.9	-28.6		0.0	-42.9
サービス業	-16.7		0.0	-16.7	-16.7	0.0		0.0	-16.7
建設業	0.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-11.1	0.0	0.0	-7.4	-18.5	-7.4		0.0	-14.8
全体	-17.3	-8.6	3.8	-9.6	-17.3	-11.5	-20.0	-1.9	-19.2

図表3～【指標別DI値の推移】

	30年 9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	4月	元年 5月	6月	7月	8月	9月	前月 比
売上高	-5.8	0.0	-13.5	-5.8	-23.1	-23.1	-17.3	-9.6	-25.0	-26.9	-23.1	-34.6	-17.3	17.3
在庫数量	-2.9	-17.1	-5.7	-17.1	-8.6	-17.1	-17.1	-17.1	-28.6	-20.0	-20.0	-14.3	-8.6	5.7
販売価格	3.8	3.8	9.6	7.7	0.0	1.9	-1.9	1.9	3.8	0.0	5.8	0.0	3.8	3.8
取引条件	-3.8	-5.8	-11.5	-9.6	-15.4	-11.5	-13.5	-7.7	-3.8	-1.9	-5.8	-9.6	-9.6	0.0
収益状況	-23.1	-17.3	-19.2	-19.2	-26.9	-26.9	-21.2	-3.8	-15.4	-19.2	-21.2	-28.8	-17.3	11.5
資金繰り	-11.5	-9.6	-9.6	-15.4	-15.4	-9.6	-11.5	-3.8	-5.8	-7.7	-11.5	-15.4	-11.5	3.9
設備操業度	-12.0	0.0	4.0	4.0	-16.0	-8.0	-8.0	0.0	-4.0	-4.0	-4.0	-20.0	-20.0	0.0
雇用人員	1.9	-3.8	-1.9	-5.8	0.0	0.0	-3.8	3.8	0.0	-3.8	-5.8	-3.8	-1.9	1.9
業界の景況	-21.2	-13.5	-19.2	-15.4	-25.0	-23.1	-21.2	-13.5	-25.0	-28.8	-23.1	-25.0	-19.2	5.8

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
繊維・同製品	25.0	50.0	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
木材・木製品	100.0	-25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-100.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-75.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
一般機器	25.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	50.0	-25.0	75.0
製造業	24.0	4.0	8.0	-4.0	20.0	4.0	0.0	0.0	16.0
卸売業	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	42.8	0.0	-14.3	14.3	14.2	14.3		0.0	0.0
サービス業	16.6		16.7	0.0	50.0	0.0		0.0	16.6
建設業	0.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		20.0	0.0
運輸業	-50.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-50.0
その他	50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	11.1	10.0	0.0	3.7	3.7	3.7		3.7	-3.7
全体	17.3	5.7	3.8	0.0	11.5	3.9	0.0	1.9	5.8

## 特記事項

情報連絡員報告（令和元年9月分）

所属組合	特記事項
酒類製造業	売上高の減少が続いている。特に普通酒の売上減が激しいようである。
縫製業	9月中旬までは受注があったが、それ以降は急激に減少し、10月生産はほとんどない状況である。増税後の売行きが不透明なため在庫が増えないように生産をセーブしており、先行きが見通せない状況である。
染色整理業	一部で若干の悪化がみられる。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	トーション業界は本格的なシーズンに入ったが、動き出しの早い高級ブランドからの引き合いは相変わらず鈍い。中国系のアパレルの中には今後日本の品質やデザインをもって欧州向けの戦略を考えている様子である。業界の構造的な問題であるので、すぐには転換できないが、今後のビジネスチャンスを逃さないように業務に取り組んでいきたい。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。今年度に入り組合員2者の新規加入があり、組合の活性化が期待される。
石灰製造業	鉄鋼向けは、台風の影響で出荷減となった。肥料関係は、昨年並みの出荷があった。建材関係は、5月以降出荷が伸び悩んでいたが、前月より時期ずれによる出荷が増えてきた。全体的には、砕石、土質など時期ずれ出荷増があったが、鉄鋼向けの減少が大きく影響し、若干のマイナスとなった。
陶磁器製造業	消費増税前の駆け込み需要を期待していたが、売上は伸びなかった。秋の陶器市が11月1日から5日まで開催されるため、売上増を期待している。
金属製品製造業	家電（特に冷蔵庫）の在庫調整が影響し、減益となった。
金属製品製造業	売上低下・人件費増加・人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。
一般機械器具製造業	売上高がやや減少したが、全般的に横ばいであった。しかし、企業間格差があり、また、消費税が10%に増税されるため、今後の動向を注視しながら対応していく必要がある。なお、人手不足は継続中である。
一般機械器具製造業	自動車業界は徐々に回復傾向にあるが、建機業界が低調である。
食肉小売業	先行き不安による節約志向が進んでいる。豚コレラの発生で相場が上がっているため、利益率が低下している。
中古自動車小売業	消費増税前の駆け込み需要はほとんどなかった。増税後の購買意欲の減少が懸念される。
各種商品小売業	連休が続いたものの淡々とした売上に終始した。月末に増税前の駆け込み需要があり一部の店舗で売上増が多少あったものの、全般的には厳しい業況であった。キャッシュレス・消費者還元事業に未対応の店舗が心配である。

各種商品小売業	10月からの消費増税を見据えた駆け込み需要の恩恵により、サービス飲食系以外は大幅な売上増となった。増税後の落ち込み分を補完すべく実施されるポイント還元事業が果たしてどれほどの効果を生むのか未知数であるため、10月以降は当面苦しい状況が続いてしまうと予想される。
花・植木小売業	敬老の日を絡めた連休とお彼岸を挟んだ3連休に婚礼需要も重なり、繁忙期となった。連休中は心配された天気も大きく崩れることがなく、店頭では花が良く動いた。市況をみると、各地で天候不順による生育の遅れが発生し、月を通して主要切花の入荷が少なく、秋の彼岸向け商材では、菊類・ユリ類を中心に大幅な単価高となった。
理容業	10月からの消費増税に関しては、比較的問題なく対応準備ができている店舗が多い。また、キャッシュレス化への対応についても、若い経営者は積極的に取り入れている。キャッシュレス化に関するセミナーを希望している組合員もいるので、組合でも今後の事業として取り組むことを視野に含めた計画を立てる予定である。
自動車整備業	消費増税に対する駆け込み需要は予想したほどみられなかったが、連休が続いたこともあり共同施設の稼働率が上昇した。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関し、8月の高稼働からは若干落ちるが、9月も比較的高稼働率で推移した。宴会に関しては例年通りであったが、8月から10月にかけての宴会利用での受注件数がここ数年減少傾向にあると思う。飲食店利用に関しては5月の大型連休明けからの利用控えがそのまま続き、若干回復したものの未だ鈍い動きである。消費増税の影響を最も受けやすい業種であるため、今後の対策が必要である。
ビルメンテナンス業	採用難の中で人員を増員できていない事業所では、売上高を増やす中で人件費がその分わからないため増益傾向にある。
給食センター	産業弁当の値上げを実施したが、不採算部門の撤退等により昨年度より若干の売上高減少となった。配送の燃料費の高騰や最低賃金引上げなどで厳しい状況ではあるが、食材費の減少や新規の得意先の開拓・新商品の開発により、収益も良くなると思われる。
内装工事業	当組合の防災ラベル支給枚数からみると、カーテン用ラベルは27%増、敷物用ラベルは8%減、壁装用ラベルは27%減であった。
一般貨物自動車運送業	仕事量の減少、燃料費の上昇により、資金繰りが悪化している。
貨物軽自動車運送業	前回の消費税が8%になったときに比べれば駆け込み需要は低調だったが、9月は組合員によっては決算月でもあったため、中旬から下旬にかけて動きが活発になり、配車が追い付かないときもあった。ただ、自動車・資材・鉄鋼関係よりも、食品・飲料・生鮮などの受注が目立った。
一般乗用旅客自動車運送業	売上が低迷している。街の人通りも少ないように感じる。
大谷石採石業	受注生産で商品を加工しているが、商品の届け先（工事現場）での人手不足により工期が延びてしまい、その分商品を出荷できないという悪循環が発生している。